

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

【1:経営の基本的考え方】

川崎市が期待する役割と経営改革	<p>①期待する役割</p> <p>看護師等の医療人材の不足に対する施策の推進が求められており、とりわけ看護師の確保を促進させるために必要な施策を講じることは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」によって、地方公共団体の努力責務ともされているところである。地域における看護師の養成は、市内をはじめとする医療機関等への就職に直接的に関わることから、医療人材を確保していく上で、極めて有効な手段である。本市としては川崎市看護師養成確保事業団が、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との連携及び協調のもとに看護師の養成等を推進し、もって市民の健康の保持増進に寄与していくことを期待している。</p> <p>②経営改革項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標がひとりでも多くの看護師を市内医療機関が確保できる医療体制の整備にあることから、その役割は果たしているものとする。今後もさらに資質の高い看護師を一人でも多く育成できるように教育水準の向上に努める。 ・収支損益を直接期待する事業ではないものの、法人の意識改革と経営努力により、概ね良好で効率的な運営がなされていると評価する。今後も、最小の経費で、最大の効果を発揮し続けるよう努める。
法人のミッション	<p>川崎市、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との提携及び協調のもとに、看護師の養成並びに看護職員の確保及び看護職員の資質向上のための事業を行うことにより、川崎市の医療供給体制の充実を図り、もって市民の健康の保持増進に寄与する。</p>
現状及び課題の分析	<p>医療の高度化や看護職を志す者の技術向上志向等により、准看護師の資格取得を目指す者が減少しはじめており、このため准看護師が看護師の資格を取得するための養成所も減少してきている。しかしながら、地域の医療機関における看護職確保のために、医師会では、准看護師の養成を今なお続けているところである。また、本市内の医療施設に勤務している准看護師数は、看護職員業務従事者調査によれば、約1,390人となっている。</p> <p>川崎市をはじめ、市医師会、病院協会及び県看護協会との連携のもと、看護師養成施設(川崎看護専門学校)の運営を中心とした関連事業を推進することにより、市域における医療供給体制の充実と市民の健康の保持増進に寄与することを目的とした財団の所期の目的に沿いおむね順調な事業展開をみている。</p>
経営ビジョン	<p>当法人は、准看護師が看護師の資格を取得するための養成所事業を展開して、現代の医療情勢に対応できる看護師の育成に努め、成果を上げているところである。よって今後も、このような准看護師資格保持者のニーズへの対応と地域における看護師の確保に向け、養成所事業を続けていくとともに、看護や介護に関する正しい理解が広くゆきわたるようにその普及・啓発を行なうことで、市民の健康保持増進への寄与を推進していく。</p>

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

4力年の目標と成果指標の体系	高度医療に対応でも看護職を地域へ供給する	看護師資格取得者数の向上	A. 看護師養成施設運営事業	准看護師が看護師資格を取得できるよう養成する。	市内医療機関への看護師供給状況【市内就職率】	国家試験合格状況【国家試験合格率】	国家試験受験対策強化 ①全国国家試験模擬試験 ②補習講義 ③集中指導 【全国国家試験模擬の合格圏内】	
		看護や介護に関する知識の普及・啓発	B. 看護職確保対策事業	看護に対する正しい知識が、市民に広くゆきわたるよう看護に関する普及・啓発を行う。	看護師志望者の増加【志望者数】	進学促進のための宣伝活動【志望者数】 看護師志望者の支援【志望者数】	一日看護体験での進路相談【参加者数】 一日看護体験【参加者数】	
		看護職員の資質向上	C. 看護職資質向上事業	時代の要請に応えられる資質の高い看護師を育成する。	看護師の資質向上【アンケート評価】	看護職研修の実施【研修会参加者数】	看護師研修会【開催回数及び内容】 他団体との連携・協力【共催研修回数、講師派遣件数】	
法人の主な事業内容	看護師養成施設運営事業	川崎看護専門学校(看護師養成施設)の管理・運営						
	看護職確保対策事業	看護に関する普及、啓発						
	看護職資質向上事業	研修会の開催・シンポジウム・講演会等の開催						

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

4か年の経営課題 (必ず財務の視点と業務の効率化の視点を含める)	看護師養成施設運営事業	目標がひとりでも多くの看護師を市内医療機関が確保できる医療体制の整備にあることから、今後もさらに資質の高い看護師を一人でも多く育成できるように教育水準の向上に努めていくとともに、今後も法人の意識改革と経営努力により、効率的な運営を行なう。
	看護職確保対策事業	一人でも多くの看護師を育成するために今後もPR事業を強化し、看護師になりたいという人材を発掘するなど、社会的に看護師人材を生み出すことが必要である。効率的効果的なPR手法を常に研究実践する。
	看護職資質向上事業	時代の要請に応えられる資質の高い看護師を育成し、今後も効果的な研修体制を継続していく。
	財務改善	収支損益を直接期待する事業ではないが、他の看護師養成所との均衡を常に考慮しながら適切な受益者負担に留意し、看護師育成という社会基盤整備に努める。
	業務・組織の改革	意識改革と経営努力により、概ね良好で効率的な運営を実施しているが、今後も、その法人ミッションを推進させていく。

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

	項目	指標の種類	指標	指標の選定理由	目標値(単位)	目標値の設定根拠	
指標と目標値の設定根拠	看護師養成施設運営事業	アウトプット	学年末単位未修得者の縮減	補習授業や生活相談等の実施し、進級、卒業できるように努力成果を示す指標である。	1(人)	全員の進級、卒業を目指す。	
		アウトプット	学校推薦	看護師養成の観点から事業努力成果を示す指標である。	20(名)	目標値は必要とされる優秀な学生を推薦枠全員確保する。	
		中間アウトカム	国家試験合格率	本校学生が国家試験に合格するための事業努力効果を示す指標である。	100(%)	目標値は事業ミッションを踏まえ、国家試験受験者全員の合格を目指す。	
		中間アウトカム					
		最終アウトカム	市内医療機関への就職者数	地域における看護師充足の観点から市内医療機関への供給度を示す指標です。	30(名)	開校以来、卒業生の市内医療機関への就職者数は408名で卒業生数全体683名の60%に相当する。今後は卒業生の75%を目指す。	
		最終アウトカム					
	看護職確保対策事業	アウトプット	准看護学校への訪問	学生を確保の観点から事業努力効果を示す指標である。	9(校)	平成28年度で県内の准看護学校2校が閉校されることなどから、過去実績で9校で設定した。	
		アウトプット	一日看護体験参加者数	看護師の志望者を把握する上で必要となる指標である。	60(名)	過去実績の約30%増で設定した。	
		中間アウトカム	准看護学校からの受験者数	看護師確保の観点から事業努力効果を示す指標である。	30(名)	訪問校及び他県から30名を目標。	
		中間アウトカム	一日看護体験での進路相談者数	看護師確保の観点から事業努力効果を示す指標である。	14(名)	参加者60(名)から23%に相当する14名を目標。	
		最終アウトカム	一般受験者数	看護師確保の観点から事業効果を示す指標である。	40(名)	志望者の増を目指す。	
		最終アウトカム					
	看護職資質向上事業	アウトプット	研修会回数及び内容	資質向上を図る上で事業努力効果を示す指標である。	1(回)	最低限検討すべき課題数を設定した。	
		アウトプット	他団体との連携・協力件数	資質向上を図る上で事業努力効果を示す指標である。	5(件)	参加者全員の資質向上を目指す。	
		中間アウトカム	看護師研修参加者数	資質向上を図る上で事業成果を示す指標である。	70(名)	参加者全員の資質向上を目指す。	
		中間アウトカム					
		最終アウトカム	研修参加者からのアンケート評価	資質向上を図る上で事業効果を測定する基礎となる指標である。	アンケート調査 5(項目)	研修参加者の評価で、好評価を得る項目を設定した。	
		最終アウトカム					
	財務改善						
	業務・組織の改革						

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

【2:行動計画】

計画期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日 (4 カ 年)
------	--

(1)看護師養成施設運営事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
学年単位未修得者の縮減	単位未修得者数は平成23年度で5人、平成24年度で4人となっている。	補習講義や集中指導により受験対策強化を図っていく。	3人	2人	1人	1人
学校推薦	准看護師人口の減少により優秀な人材確保が厳しい状況である。	入学者の選抜枠を拡大することにより広く優秀な人材を確保していく。	20人	20人	20人	20人
国家試験合格率	平成22年度は受験者が全員合格したが、平成23年度は96.7%、平成24年度は97.4%で全員合格できない年度が続いている。	模擬試験の実施、各種補習講義の実施及び集中指導する等、受験対策強化を図りながら全員合格を目指していく。	100%	100%	100%	100%
市内就職者数	市内医療施設への勤務者は平成23年度で卒業生全体の63%、平成24年度では56%となっている。	市内医療機関への就職者を増やすよう今後も努力をしていくが、その増加策としては、市内医療機関に就職することが条件となっている推薦入学者の増加に向けた取り組みや市内医療機関による就職説明会、個別相談会の開催促進等を推し進めていく。	26人	28人	30人	30人

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

(2) 看護職確保対策事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
准看護学校への訪問	神奈川県、東京都内にある准看護学校を訪問し、学校案内等を配布し、受験生の確保に努めている。平成25年度は9校訪問している。	学生確保に努めていく。	9校	10校	12校	9校
一日看護体験参加者	平成22年度から実施した事業で平成25年度は86人の参加者があり、看護実技体験や進路相談等を通じて参加者から好評を得ている。	多くの人に参加しやすい日程及び内容の検討を強化する。	15名	50名	60名	60名
准看護学校からの受験者数	准看護師養成施設への神奈川県からの補助金が終了する予定などで、准看護師養成施設が平成24年度1校、平成25年度に3校が募集停止を予定しており、志望者は減少傾向にある。	引き続き近隣の准看護師学校の訪問をはじめとした看護師志望者増加に向けた取り組みを実施	21名	25名	30名	30名
一日看護体験での進路相談者数	医療、福祉の中での看護師需要が増大しているなか、看護師国家試験合格者は平成23年度48,400人に対し、平成24年度は50,224人となり、1,824人の増となっているが、現状は依然として看護師の供給数が不足している。	一日看護体験事業を通して、看護師志望者を支援するため今後も継続実施していく。	9名	12名	14名	14名
一般受験者数	市民や社会人等、看護に対する関心が高まっている。	一日看護体験等、看護に関する認識度の向上のため継続実施していく。	30名	35名	40名	40名

(3) 看護職資質向上事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
看護師研修参加者数	医療の高度化、多様化に伴う看護師の資質向上が求められている。	研修会の内容の充実を図りながら研修テーマを時勢にあったものを取り入れて継続実施していく。	70名	70名	70名	70名
他団体との連携・協力件数	参加者の要望や時勢にあったものを取り入れることが求められている。	他団体との交流や意見交換の場を今後とも持ちながら継続実施していく。	5件	5件	5件	5件
看護師研修会の実施	アンケートの結果から意見・課題等の集約を行っている。	今後も意見・課題を集約し、要望を取り入れた研修を継続実施していく。	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
研修参加者数・アンケート評価(満足度)	資質向上のために意見・課題等の把握に努め、適切な評価を行っている。	今後も継続実施していく。	70(名) 5項目	70(名) 5項目	70(名) 5項目	70(名) 5項目

経営改善計画

法人名	川崎市看護師養成確保事業団	所管部署	健康福祉局保健医療政策室
-----	---------------	------	--------------

(4) 財務の改善

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
補助金の増加抑制	医療高度化に伴う教育プログラムの変更による教育経費の増、入学希望者の減による受験料収入等の減	①事務の効率化による管理費コスト削減により、教育経費の増加等を抑制する。	100.5%	100.6%	100.7%	100.7%
		②受験者数の増加を図ることにより、自己財源の確保に努める。	60人	65人	70人	70%
		③適切な受益者負担に留意し、事業収入の改善に向けて受講料等について県内の類似校と比較、検討しながら自主財源の確保を検討する。				
有効な資金運用	平成21年度に基本財産の運用として川崎市債を購入	市債は、5年(平成26年)の残存で、引き続き有効な運用ができるよう図る。現在の利率は、7.2%であるが、新たな市債の利率は下がることから、運用益は減額となることが見込まれる。	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

(5) 業務・組織の改革

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
適正な業務運営	当法人は、監事2名を配置	公正な法人経営の推進を図るため、専門家(公認会計士等)を活用し、業務監査も取り入れた監査体制の確立を図る。	実施	実施	実施	実施

資 金 計 画 表

[平成26年度～平成29年度]

法人名: 川崎市看護師養成確保事業団

(単位:千円)

項 目			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収支	収入	事業収入	36,030	36,060	36,060	37,222
		営業債権増加高				
		補助金収入	85,580	92,581	99,313	80,542
		委託費収入				
		寄付金収入				
		雑収入	251	251	251	251
		基本財産収入	1,461	610	610	331
		県補助金	13,522	13,522	13,522	15,762
		経常収入合計	136,844	143,024	149,756	134,108
	支出	看護師養成施設運営	129,516	135,534	141,846	123,002
		看護職確保対策事業	153	163	173	145
		看護師資質向上事業	97	127	137	94
		管理費	1,619	1,700	1,800	3,420
		退職給付引当金繰入(△)	5,459	5,500	5,800	7,437
予備費					10	
...						
経常支出合計	136,844	143,024	149,756	134,108		
経常収支			0	0	0	0
投資収支	固定資産取得支出					
	固定資産売却収入					
	...					
投資等収支			0	0	0	0
財務収支	借入れによる収入					
	借入金償還による支出					
	利息/配当金の支払					
	財務収支	0	0	0	0	
現金預金増加高			0	0	0	0
期首現金預金						
期末現金預金			0	0	0	0